

3

主題	選ばれるヘルパー事業所を目指して
副題	ケアマネジャーがヘルパー事業所を選ぶポイントを知りたい

キーワード1 訪問介護	キーワード2 アンケート	研究期間	5ヵ月
-------------	--------------	------	-----

法人名	社会福祉法人 三育ライフ		
事業所名	シャローム南沢 訪問介護事業所		
発表者：井筒 眞美	アドバイザー：なし		
共同研究者：氏名 宮下 賢二、小川 美佐江			

電話	042-467-1584	FAX	042-467-3040
----	--------------	-----	--------------

今回発表の事業所やサービスの紹介	提供サービス：訪問介護・介護予防訪問介護 特定事業加算Ⅱ サービス提供責任者 3名 非常勤ヘルパー 20名
------------------	--

### 《1. 研究前の状況と課題》

介護保険の度重なる改正により、訪問介護では、年々訪問時間の減少がみられる。

ヘルパー事業所では、ケアマネジャーからの依頼があり、それを受けることで仕事が始まる。

では、ケアマネジャーは、どのように依頼をする事業所を選択しているのか。

選ばれるヘルパー事業所には、何が重要なのか、選ぶ側のケアマネジャーに直接聞いてみたいと思い、アンケートを実施することにした。

### 《2. 研究の目的ならびに仮説》

ケアマネジャーが訪問介護を必要とする利用者にサービスを提供する際、何を基準にヘルパー事業所を選択するのか。是非知りたい。

知り得た情報を業務に上手く取り入れるには研修や体験が必要になると思われる。

それは、各ヘルパーのスキルアップに繋がることであり、また、それによって、ヘルパー事業所自体の向上にもなる。

### 《3. 具体的な取り組みの内容》

H27年5月アンケート実施。

H27年5月の時点で関わりを持つ居宅介護支援事業所が32ヶ所。

その全てにアンケートを配送する。

地域は、東久留米市、西東京市、小平市、清瀬市。

事業所単位ではなく、ケアマネジャー個人の回答とし、事業所名、個人名、全て無記名とする。

アンケートを作成する段階でケアマネジャーに聞いてみたいこと、選ばれる側として知りたいことを話し合い、設問を考える。考えた設問に対して、結果の予想を立てる。

### 《4. 取り組みの結果》

アンケートの返信は、22ヶ所の事業所。58名のケアマネジャーから回答があった。

事業所の選択理由として、一番ポイントが高かったのは、「利用状況に応じて」だった。設問によっては、予想と違い、意外なこともあり参考になった。

ヘルパー事業所への要望の記入欄には、緊急時の柔軟な対応、土日対応の必要性の声が多かった。

ヘルパー事業所への苦情としては、勝手な時間変更、連絡の不備等が多く寄せられた。

### 《5. 考察、まとめ》

結果から、ケアマネジャーがヘルパー事業所を選択する際「利用状況に応じた」

「ケースにあった柔軟な対応」ができ、「安心して任せられる」を考慮していることが判った。

それに応えるために、大変貴重な資料となったアンケート結果を、更に分析を重ね、この地域のケアマネジャーに選んでもらえるヘルパー事業所を目指す。

### 《6. 倫理的配慮に関する事項》

アンケートを依頼した、32ヶ所の居宅介護支援事業所に協力のお礼を文章にして配布。

その中にアンケートの結果を本研究発表に使用する旨を伝え、同意を得たこととした。

### 《7. 参考文献》

### 《8. 提案と発信》

一人として同じ利用者は居ない

一つとして同じケースはない

個人を尊重し、利用者と向き合う、情報を共有し、理解を深め、関わる全員で進む方向を確認し介護に当たる。

そのために会議（話し合い）の重要性を感じる。多忙な業務の中、有意義な場を作り、意見を出し合いたい。